

## 2023 Vol.3 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

\*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、  
『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

●特集で紹介されていた神奈川県海老名市立今泉小学校の記事を読み、インクルーシブ教育の一環として「自由進度学習」を実践していることに、感銘を受けました。児童一人ひとりの学習状況や思考状況を把握するのはとても難しいと考えていましたが、教員1人では困難だとしても、組織的に行えば実現可能であることを感じられる実践でした。  
(大分県)

●特集の東京都渋谷区立広尾小学校の進藤大介先生による「自由進度学習」の記事を読み、授業準備や子どもの見取りとともに、学級経営の素晴らしさを感じました。「学ぶ姿をイメージして学習材を練り直す」といった考え方も、授業づくりができたなら終わりではなく、その都度修正しながら、より子どもの実態に合った内容にする配慮がなされていました。これからの授業づくりの指針となると思いました。  
(北海道)

●特集の神奈川県横須賀市立長沢中学校の事例では、教科リーダーを決めて生徒が設定した個別の課題を大切に授業を行い、それによって当該教科の授業のみならず、学校全体の活動に大きく影響している点がとても印象的でした。中学校では教員が指導計画を立て、教員主導で行う授業が多い中で、この記事には今後の授業改善に向けたヒントが多くあったように思います。  
(富山県)

●特集では、上智大学の奈須正裕教授が「個別最適な学び」と「協働的な学び」は互恵関係にあると解説されており、納得できました。また、3校の事例から得られるヒントが具体的で分かりやすく、「個別最適な学び」のイメージをつかむことができました。  
(山口県)

●特別企画の提言を読み、どの地域・規模の学校にも一定数のヤングケアラーが存在するのを知りました。児童生徒と直接触れ合う機会が多い教員こそ、児童生徒のちょっ

とした言動の変化に気づき、それを集約・共有する支援体制をつくっていくことが重要であると、再認識できました。東京都江戸川区の取り組みでは、ヤングケアラーの可能性のある生徒に行う2回目の面談で、生徒が最も話しやすい教員を指名できるのも、配慮された方法であると感じました。  
(東京都)

●かつて家庭環境を把握する方法には家庭環境調査票や家庭訪問がありましたが、個人情報保護の観点から簡略化され、学校と家庭との関係が希薄化しています。教育には子ども・保護者と教員との信頼関係が不可欠です。ヤングケアラーに焦点をあてた特別企画の記事を読み、地域のコミュニティが喪失しつつある現代社会において、教員がアンテナの精度を保つためにも、行政との連携が求められると思いました。  
(千葉県)

●連載「Leader's View」の記事を読み、大阪府大阪狭山市では、公立のみならず、民間の保育所や幼稚園を含めて校種間連携がなされている点が素晴らしいと感じました。それと同時に、本来必要である公立・私立間の協働ができていない現状に、ハッとさせられました。  
(福岡県)

●連載「データで教育を読む」の記事を読み、他地域と比べて本地域のICT活用が進んでいないことに危機感を抱きました。進んでいる地域との格差が広がっているのではないかと感じています。  
(山形県)

●地域の資源を学習に活用したい時には、地域と学校をつなぐコーディネーターの役割が重要で、支援を求めることが多くあります。連載「教委がつなぐ地域と学校」で紹介されていた神奈川県横浜市教育委員会では、そういったコーディネーターを、目的を定めて養成しようとしていることに感心しました。  
(岩手県)

## 編集後記

特集の取材で、八王子市立高尾山学園を訪問しました。プレイルームだけでなく、どの教室にも児童生徒用の机4つ分くらいの大きさの、作成中のジグソーパズルが置かれていました。校長先生曰く、「子どもが最も成長するのは、友だちと協力して物事をやり遂げた時」とのこと。1ピースの凹凸は、ほかのピースの凹凸と必ず組み合わせる。教室のジグソーパズルは協働・共創の象徴のように見えました。(齋藤)

## VIEWnext 教育委員会版 2024 Vol.1

2024年6月14日発行/通巻34号

発行人	田村隆憲	お問い合わせ先	
編集人	柏木 崇	フリーダイヤル	
発行所	(株)ベネッセコーポレーション	0120-350455	
	学校カンパニー VIEW next 編集部	〒700-8686	
印刷製本	研精堂印刷(株)	岡山市北区南方3-7-17	
編集協力	(有)ペンダコ		
執筆協力	二宮良太		
撮影協力	筒井岳彦、ヤマグチイッキ		

©Benesse Corporation 2024

※次号 Vol.2 の発刊は、2024 年 11 月を予定しています。